

希少糖を使うようになると、
“うどん県”にとって
朗報になると思いますね。

希少糖の商品化を進める
「レアスウィート」の近藤浩二社長。



4.希少糖を使ったこんにゃく製品を開発した「ハイスキー食品工業」菱谷龍二社長。
5.ハイスキー工業社内には研究スタッフ・研究室も完備し、日々新商品の開発を行っています。7.生レバーや寿司ネタに模したハイスキー食品工業のこんにゃく製品(写真の製品には希少糖は使用していません)



廃校となった小菘小・中学校を 国際的な研究・交流施設に

香川大学農学部「希少糖研究センター」および「希少糖生産ステーション」となる希少糖の研究・開発機関が、三木町の山間部山南地区にある「三木町希少糖研究研修センター」です。この施設は、小菘小・中学校の廃校を利用して、平成19(2007)年に誕生し、オープニングには、世界中から希少糖の研究者が駆けつけました。

小菘小・中学校は、昭和63(1988)年度の「第37回全国へき地教育研究大会開催校」に選ばれるなど、先進的な教育で注目を集めてきました。しかし、児童・生徒数の減少から、平成17(2005)年度末で廃校を余儀なくされました。

同センターは、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール」事業の研修地にも選ばれ、毎年、全国の高校生が希少糖を使った研究で競う「希少糖甲子園」も開かれています。全国で廃校が増えている中、有効活用のモデルケースとして注目されています。

同センターは、希少糖の商品化を進める販売会社「レアスウィート」の拠点でもあります。「レアスウィート」は、平成

23(2011)年6月に、希少糖の商品化第一弾として、D-ブシコースを含むシロップ状の甘味料「レアシュガースウィート」の販売を開始しました。

発表から1年間は「レアシュガースウィート」の販路を香川県内企業に限り、それを使った製品を“地元の希少糖入り”としてアピールしていますが、平成24(2012)年6月からは県外の企業にも販路を広げていきます。

「レアスウィート」の近藤浩二社長は、元香川大学学長で、産学官が連携した研究を推進するために尽力してきました。

「永年の研究成果が形になり、さまざまな分野への展開が期待できるようになってきました。実験レベルでの量産技術は確立できたので、安全性に配慮しつつ、低コストで生産効率を上げることが課題です。香川県は、糖尿病の受療率が全国ワースト1で、うどんの食べ過ぎによる過血糖が原因ではないかと言われています。うどんのつけ汁やだしに希少糖を使うようになると、これが解消できるかもしれません。“うどん県”にとって朗報になると思いますね」

希少糖を使った さまざまなビジネス展開が進行中

平成23(2011)年11月に、「三木町希少糖研究研修センター」で「希少糖エキスポ2011」が開催され、希少糖を使った商品の見本がたくさん出品され、大勢の来場者が試食しました。

「煮物に使うと食材を柔らかくできる、照り焼きなどに使うと魚臭さがなくなるなど、いろいろな面白い現象が表れています。タンパク質を堅くし、でんぷんを柔らかくする効果があるようですね。長期間、生活習慣の中に組み込んで使うと、肥満を抑えることができるようです」と香川大学農学部の早川茂学部長も太鼓判を押します。

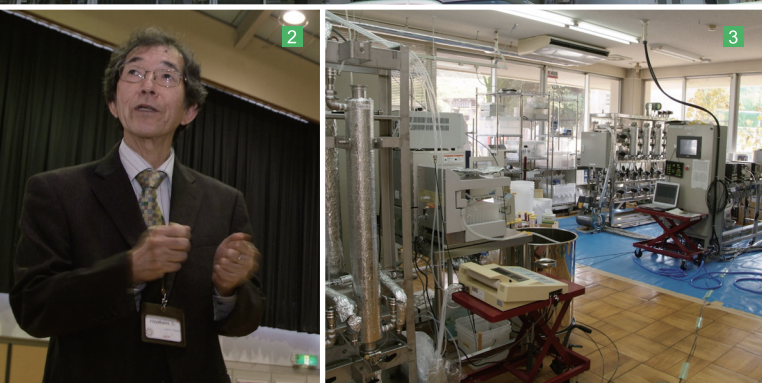
「マンナンミール」などで知られる、三木町のこんにゃく製造会社「ハイスキー食品工業」も、希少糖を使った製品の開発を進めている企業の一つです。

「うちの製品と希少糖を組み合わせることで、高い機能が得られる可能性があり、大きな期待を持って研究を進めています」と菱谷龍二社長。

三木町で生まれた希少糖が、地元で製品化される。研究の地産地生が期待されています。

Rare Sugar Research and Development in Miki Town

The Miki Town Rare Sugar Research and Training Center (Miki RSRT Center) was opened in a school that closed down. Each year high school students from across Japan come to the center to participate in the "Rare Sugar Koshien"; a competition based on rare sugar research. In Miki Town, advancements in the development of rare sugar products are also being made. The Rare Sweet Co., Ltd. is selling a sweetener made with rare sugar and Haisky Foods Corporation (a konnyaku food manufacturer) is also developing new products.



1.廃校となった小菘小・中学校を活用して誕生した「三木町希少糖研究研修センター」。研修者の宿泊施設も完備している。 2.「希少糖エキスポ2011」で、希少糖の可能性を熱く語る香川大学農学部の早川茂学部長。 3.同センターは最新の機器を備え、希少糖の研究・開発から生産までを行っている。